

News release

2019年11月21日

経皮吸収型 パーキンソン病治療剤「ハルロピ®テープ」国内販売開始のお知らせ

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、2019年11月19日の薬価収載を受け、経皮吸収型 パーキンソン病治療剤「ハルロピ®テープ」（開発コード：HP-3000、一般名：ロピニロール塩酸塩、以下「本剤」）を本年11月29日に発売することをお知らせします。

本剤は、久光製薬株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役社長：中富一榮、以下「久光製薬」）がTDDS（Transdermal Drug Delivery System：経皮薬物送達システム）技術を用いて開発した全身性の経皮吸収型製剤であり、2019年9月20日に国内製造販売承認を取得しました。安定した血中薬物濃度を維持し効果を持続させることで、パーキンソン病治療剤の新たな選択肢となると期待しています。

2019年2月に久光製薬と締結した契約に基づき、本剤の国内での販売および情報提供活動は協和キリンが行い、協和キリンは売上高に応じたマイルストーンを久光製薬に支払います。久光製薬ならびに協和キリンは、本剤の適切な情報提供を通じて、パーキンソン病患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

（製品情報）

製品名	ハルロピ®テープ 8mg (HARUROPI® TAPE 8mg) ハルロピ®テープ 16mg (HARUROPI® TAPE 16mg) ハルロピ®テープ 24mg (HARUROPI® TAPE 24mg) ハルロピ®テープ 32mg (HARUROPI® TAPE 32mg) ハルロピ®テープ 40mg (HARUROPI® TAPE 40mg)
一般名	ロピニロール塩酸塩
効能・効果	パーキンソン病
用法・用量	通常、成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回8mgから始め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔で、1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロール塩酸塩として1日量64mgを超えないこととする。
製剤の大きさ	ハルロピ®テープ 8mg 5.33cm ² ハルロピ®テープ 16mg 10.67cm ² ハルロピ®テープ 24mg 16.00cm ²

	ハルロピ®テープ 32mg	21.33cm ²
	ハルロピ®テープ 40mg	26.67cm ²
薬価	ハルロピ®テープ 8mg	404.90 円/1 枚
	ハルロピ®テープ 16mg	623.00 円/1 枚
	ハルロピ®テープ 24mg	801.50 円/1 枚
	ハルロピ®テープ 32mg	958.40 円/1 枚
	ハルロピ®テープ 40mg	1,101.00 円/1 枚
製造販売承認取得日	2019 年 9 月 20 日	
薬価基準収載日	2019 年 11 月 19 日	
製造販売元	久光製薬株式会社	
販売元	協和キリン株式会社	
発売日	2019 年 11 月 29 日	